平成27年(2015)

那覇市ボランティ

発行: 社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会 〒901-0115 那覇市金城3-5-4 TEL.098-857-7766 FAX.098-857-6052 (e-mail) info@nahasyakakyo.org (http) www.nahasyakyo.org

ボランティアセンターだより 🤧

ボランティア募集

ボランティアに希望する方は、ボランティアセンターまでご連絡ください。

☎098-857-7766

情報の見方 ▶ ①活動内容 ②日時 ③場所 ④駐車場 ⑤人数 ⑥条件 ⑦備考

ヨガ・方言・手芸等のボランティア

県指定障がい福祉サービス「癒しの家スマイル(女性専用)」では、 ヨガ・方言・手芸等の女性講師ボランティアを募集しています。

- ①方言・手芸・ヨガの講師ができる女性。
- ②平成27年4月1日~平成28年3月31日13:30~14:30
- ③那覇市久茂地2丁目 ④無 ⑤3名 ⑥大学生以上の女性
- ⑦交通費、昼食代、実費弁償費等有り

通学付き添いボランティア募集

特別支援学校に通う男の子 (知的障がい児) の通学支援のボラン ティアを募集しています。ご両親とも共働きで朝早くに出勤するので、 スクールバスの時間に合わせることが厳しい状況です。活動内容は、「コープ こくば」から国場バス停まで付き添ってもらい、バスに乗るまで見届けていた だきます。男の子は人見知りをしない明るい性格です。毎日のことなので、多く の方にご協力を呼びかけます。ぜひ皆さんの可能な日を提供してください。 (火・木・金曜日は、通学支援ボランティア有り。)

- ①通学の付き添い見守り
- ②月~金/午前7:50~8:30(約40分)
- ③コープこくば~バス停(徒歩5分弱) ⑦ボランティア保険自己負担

障がい者の就労支援施設「がじまるの樹の下で」の運営で、喫茶店 業務内でのチャリティー展示物産展の受付・展示販売・簡単な調理作り 等のお手伝いボランティアを募集しています。

- ①受付・展示販売・簡単な調理作り等手伝い
- ②月~金(土・日・祝祭日を除く)週1回の活動も可。
- a10:00~14:00·b13:00~18:00のa/bから選択
- ③那覇市曙2丁目 ④無 ⑦昼食付

介助ボランティア募集

車イスバスケットの練習児のボランティアを募集します。 練習前の車イスを出し入れや移動のお手伝い、準備のお手 伝いのボランティアを募集しています。車イスバスケットや介護に興味 のある方お待ちしています。

①練習進備

- ②月曜日 pm7:00~·木曜日 pm6:30~
- ③寄宮中学・浦添サンアビリティー ④駐車場あり
- ⑤2人 ⑥男性

通院ボランティア募集

通院といっても人ではなく病気の猫を病院に定期受診 するための送迎ボランティアを募集しています。



- ①依頼者の家から病院まで
- ②5日に1度 午前中 ③那覇市金城
- ④駐車場あり ⑤1人 ⑥女性(猫好きな方)

ボランティアBOX取組団体(3月受付分)※順不同

1	沖縄県社会福祉協議会	7	翔南病院(沖縄市)
2	那覇市シルバー人材センター	8	那覇市保健所 健康増進課 株式会社ゆうちょ
3	エミール保育園	9	与儀市場通り「地域見守り隊」
4	㈱沖縄設計センター	10	株式会社ゆうちょ銀行 沖縄エリヤ本部
5	ネットワーク就労センター オリーブの家	11	北部地区医師会病院
6	与那原町社会福祉協議会	12	障がい者就労支援センター さわやか



社会福祉法人 那覇市社会福祉協議会

那覇市地域ふれあいデイサービス地区交流会



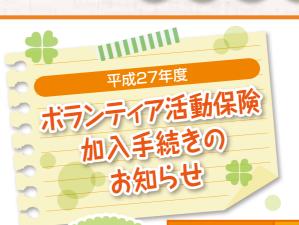
◎那覇市地域ふれあいデイサービスに 城間市長が激励

26年度那覇市地域ふれあいデイサービス運営協議会地区交流 会が、各地区に分かれ行われました。

3月9日から始まった本庁地区交流会では、前半に26年度事業 報告を終え、今回はこれからの地域ふれあいデイサービスの活動 を通して共助の輪、見守り等の連携を考える機会を設け、那覇市 の高齢者事情や介護保険制度改正による動向などの情報を共有 できました。

交流会では、城間市長がお見えになり、激励の挨拶を頂きま した。参加者の皆様も大変喜ばれ、今後の活動への意欲、元気 を頂きました。城間市長ありがとうございました。

インフォメーショ



○ボランティア活動保険は…

ボランティア活動中のさまざま事故によるケガや損害賠償責任を 補償します。

さらに後遺障害もフルカバーなので安心!

- ※後遺障害保険金は、後遺障害等級1級から14級までのすべてがお支払いの対象 になります。
- ◎加入条件は…

社会福祉協議会及びその会員・構成員ならびに登録しているボラン ティア個人または、ボランティアグループ・団体。



年 間 平成27年4月1日~平成28年3月31

基本タイプ▶Aプラン 300円 Bプラン 450円

天災タイプ▶Aプラン 430円 Bプラン 650円

入手続き

所定の「加入申込書」に必要事項をご記入し、ご署名(フルネーム)またはご捺印の上保険 料を添えて、最寄りの社会福祉協議会のご提出ください。既作成の名簿がある場合は、 「加入申込書」に名簿コピーを添付してください。(名簿の書式は問いませんが、個々の加入 者氏名と加入プランを明記してください。)

平成27年度

ボランティア 行事用保険は

お気軽に

お問合わせ

ください。

地域福祉活動やボランティア活動のさまざまな行事における、◎主催者や参加者の ケガ、◎主催者の賠償責任(主催者責任)を補償します。

- ・掛け金は、Aプラン(宿泊を伴わない行事)、Bプラン(宿泊を伴う行事)の2プラン があります。
- ・平成27年度、死亡・後遺障害保険金額の改定を行っています。
- ・平成27年度、Bプラン(宿泊を伴う行事)の保険料が変更になりました。
- ・平成27年度、A3行事を新設しました。

那覇市ボランティア・市民活動センター 〒901-0155 那覇市金城3丁目5番地の4

(那覇市総合福祉センター)

E-mail naha-vc@nahashakyo.org





地区担当コーディネーター通信。No.



首里山川町自治会 「地域見守り隊」(認証第7号) を結成しました!

2月22日に首里山川町自治会にて「地域見守り隊」(認証第7号)結成式を行いました。

島袋正則自治会長、本郷清次郎事務局長を中心に、30代~60代の現役世代が4年前から山翠会を立ち上げ、地域の伝統行事(旗頭)の活動のほか、今年度より「自主防災組織と地域見守り隊」に取り組みます。組織としては「災害時」活動と「平常時」活動を明文化し、日頃より気になる一人暮らしの高齢者や障がい者世帯などティシュ訪問活動を通じ、安否確認を行います。当日は、町内の子供から大人約90名が参加し、消化訓練や炊き出し訓練も行いました。



▲首里山川町自治会「地域見守り隊」の結成式の様子



▲「自主防災組織」による消火訓練と炊き出し訓練

那覇第五民生委員児童委員協議会エリア地域懇談会の開催!

今年度よりスタートした「安心生活創造推進事業」の一環として「地域見守り隊」のモデル地区を協議するための地域懇談会を開催してきました。

昨年10月10日の真和志第四民児協から始まり、今回平成27年3月4日(水)の懇談会をもって市内

16箇所すべて開催いたしました。那覇第五民生委員児童委員協議会エリアの懇談会では新都心地域と

いう特徴から、民生児童委員の活動においても要援護者の訪問・実態把握が難しいこと、また自治会においては自分たちの地域に災害時要援護者名簿の対象者がいったいどのくらいの人数がいるのか分からないと活動のイメージが湧かない、判断しにくいという意見がありました。

今回の懇談会では銘苅新都心自治会やおもろまち 自治会と継続的な話し合いを進め、「地域見守り隊」 の具体化に向けて動いていくことを確認しました。



▲那覇第五懇談会



ふれあい・いきいきサロン 「わかば」 開所!

去った2月7日、市内40ヶ所目となるふれあい・いきいきサロン「わかば」が開所しました。

この事業は、地域の方々の「誰かと話したい」「体を動かすのは苦手だが、おしゃべりはしたい」という声を基に、より身近で気軽に集まれる居場所づくりをねらいとしたものです。

今回開所した「わかば」は、近隣にふれあいデイサービスが3ヶ所ほどありますが、高齢の方が歩いていくには距離があり、他に地域で集まれる場所がまったくない地域です。担当の民生委員さんが地域にゆんたくしながら



▲ふれあい・いきいきサロン「わかば」の活動の様子



▲仲里市社協会長(左)より看板を受けとる棚原さん

気軽に立ち寄れる場づくりの必要性を感じていたところ、琉球新報国場販売店の渡慶次さんに仲介していただき、店主米元さんが快く場所の提供をしてくださったことで開所が実現しました。(米元さん、渡慶次さん、ありがとうございます!!)

開所式当日は15名もの方々が参加し、ゆんたくに花を 咲かせていました。近隣にお住まいでも、初めて顔を合 わせた方もおり、今後地域の新たなゆんたく場として 活躍しそうです。

今後は毎月第1土曜日10時~開催します。近隣の方は、どうぞ足をお運びください!!

小禄市営住宅自治会にて福祉協力員養成講座を開催!

3月21日、「小禄市営住宅自治会の地域見守り隊」のボランティアの皆さんを対象に、福祉協力員養成 講座を開催し、12名の方々を福祉協力員として委嘱しました。

今回は、見守り訪問のポイントや、地域包括支援センター小禄の新本所長からは、「認知症の方へのかか

わり方について」の話がありました。また後半には、事例を一つあげ、皆さんで出来ることについて話し合いました。 真剣な眼差しで話を聞いている受講生の皆さんの姿からは、これから始まる活動への意気込みが伝わってきました。

小禄市営住宅自治会は若いボランティアが多く、とてもパワフルな自治会です。当社協でも、住民の皆さんと一緒に、安心して暮らせる地域づくりを目指し、活動を進めていきたいと思います。



▲小禄市営住宅自治会「福祉協力員養成講座」



